

【資料】

2020年オリンピック・パラリンピックの競技会場を見直し、既存施設を活用する場合
削減工事費概算(2013年、招致委員会作製資料に基づく)

2014年6月24日

新建築家技術者集団・東京支部代表幹事 小林良雄

国立競技場を改修して使う	800 (億円)
建替え 1650 億円、改修費 850 億円の差額	
大井ホッケー競技場→駒沢球技場	25
海の森水上競技場（ボート、カヌー）→戸田漕艇場など他	69
若洲オリンピックマリーナ→江の島ヨットハーバー	92
夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B→駒沢体育館など他	364
オリンピックアクアティックセンター→辰巳国際水泳場など	321
計	1671億円

国立競技場以外の既存施設の改修費を多少見る必要がある。
それを100億円と仮定して、約1570億円の節約になる。